

経済建設常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和4年3月9日（水） 午後2時17分～午後2時51分
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 茂木委員長、三ツ石副委員長、中村、井上、井之川 各委員
- 4 欠席委員 大島委員
- 5 事務局 古味副主査
- 6 議 事 (1) 経済部各課の調査事項検討・意見交換
(2) 都市建設部各課の調査事項検討・意見交換

7 会議の概要

(1) 経済部各課の調査事項検討・意見交換

○委員長 はじめに、次第(1) 経済部各課の所管に係る調査事項の検討と意見交換に入る。発言のある委員はあるか。

○井之川委員 今度の予算にもものっているが、勤労者体育センターの解体事業というのがある。実は、それに勤労者会館というのがかくっついている。今予算の上に出ているが、144ページ。勤労青少年施設の関係で、管理費の中に勤労青少年ホーム解体等整備事業というので、解体する。白岩の青少年ホームと体育館を。この上に勤労者会館というのがかくっついている、労働組合がある会館が。本当はかくっついているから一緒に壊したいのだが、入っている団体が、利根労会議という団体なのだが、我々の仲間の人も多いのだが、市に出て下さいよというの言われている。理由は勤労青少年ホームと同じで老朽化しているから壊すという、けどなんでそこに団体が入っているかという、沼田公園の記念館というのがあった。もう覚えている人はいないけれど、記念館というのがある、入口のところに、今駐車場になっているが、あれが学校の先生の組合の団体の事務所だった。あそこはそういう市として駐車場とか、そう使いたいから壊してもいいかという話をされて、じゃあ協力しましょうというので、じゃあどこに行きますかということで、勤労青少年ホームのところに勤労者会館というのを作るから、そこに利根労会議という教員の労働組合と高柳さんがやっている連合労が入って下さいよというので、ずっと入っていた。それで、老朽化してきたので壊したいと3年くらい前から話があったのだけれど、連合は分かりましたと、出て行っちゃったわけだ、多分渋川の事務所に一緒になっちゃったんじゃないか。それでその団体が残っているのだが、連合はただ貸してもらっていたところを出ていくのだからいいのだが、今いる団体は公園にあった教育記念館をずっと自分達のもので、自分達でお金を出した建物なので、それを市に協力するので、じゃあそれは壊して市が駐車場にしますと。その代わりにあっちに入ってくださいと言われたから入ったので、そういう流れがあるから、今度出ていくときもどこか斡旋しろという話がある。移転先を市が見つけて、見つけたから出て行ってくださいというようなのが筋でしょうということをやっている。市のほうは労働団体に今直接貸すような建物はないので、自分達で見つけてくださいという話になっていたり、入らないけれど普段会議したり、そういう施設は準備しましたとあって、移転はできないけれどどこか自分達の事務所がちっちゃいの見つければ、会議をやるときとか、そういうときは市の施設を使ってもいいですよという話くらいまではきたのだが、もう4月に議論をするのだが、6月までに出ないといと壊せな

くなっちゃうという話なんだよね。だから皆さんにも知ってもらったほうがいいのと、こんだけの予算、1億3,400万円だから、皆さん賛成するのだから、そうすれば執行できないなんて大騒ぎになっちゃうから。その辺の事情をちょっと当局に話がつきそうかどうか、うまくいきそうかどうか、うまくいかなかった場合どうするのか。私なんかはぎりぎりまでうまくいかなかったら、とりあえず中の荷物を出す倉庫みたいなものを見つけてやって、荷物を皆出せば壊したって被害はない。だからそんなことを当局に話してみようかなと思っている。

○井上委員 勤労者会館のことだから、勤労者会館解体の…。

○井之川委員 まだ、そういう事情があるので勤労者会館の解体費はのせてない。

○井上委員 でも、事業の中で勤労青少年体育センター及び勤労者会館の解体に向けた解体工事等を行いますとあるので、この予算の中で勤労者会館のことは入っているっぽい書き方だが、入っていないのか。

○井之川委員 入れていない、まだ話がついていないから入れると騒ぎになるから、私なんかが大反対しちゃうから、それは気を遣って、話がついたら補正で入れますという話だ。それはちゃんと当局も承知している。

だけど、そういう話をするときに呼ばれていくのだが、その前で、とりあえず皆荷物を出せばいいじゃないかと言うと、私が怒られちゃうわけだ。だけどこういう場所で、なんか解決方法とか、こういう場所なら言えるから。

○井上委員 勤労者会館の解体に向けた話し合いがどう進んでいるのかとかっていうので…。

○井之川委員 そうだ。そういうことでいい。

○副委員長 あてはないのか。

○井之川委員 だから、市は今までみたいに勤労者会館をどこかに作って、じゃあここに行ってくださいということであれば全然問題ない。けどもうそういうものを作るというのが。

○委員長 多分もう作らない。

○井之川委員 だって今の計画も、どっちかというと皆壊しているほうだから。公共施設を減らすという方針だから、新しいのを作れないんだよね。

○副委員長 福祉センターとかそういうのは。

○井之川委員 福祉センターとかそういうところには、経済部がそういうところを貸してと言っているが、貸せないと言われているんだと言っている。

○委員長 福祉センターは今回改修するから、どこかに小さい事務所があればいいから、あとは会議の場所は借りればいいのだから。

○井上委員 社協もいなくなったのだから空いているんじゃないのか。

○井之川委員 だからそこを経済部が、そういうところを貸してと言っているのだが、皆うんと言わない。よく分からないが、そういう話になっている。

○委員長 でも最初はそういうところを壊したのだから。

○井之川委員 流れから見れば。けどそういう時代を知っている人はもう職員でもいなくなっちゃった。そういう経緯を知っているのも、組合のほうと我々が知っているくらいだから。その時に一筆もらっておけばよかった、そういう約束でこうやってと。案外、あ

いよって、お互いの約束でじゃあねとしたから。ちゃんとその時は勤労者会館を作ってくれたから、入って移転すればよかったから。その時の書類でも残っていれば、今の職員だって、ああそうかということになったんだけど、記録が何も残っていない。そんなんで、記憶を呼び覚ましながらか交渉しているのだが。だから、話がつけばいいんだけど、つかなくなったらごちゃごちゃするから、その辺をお願いしたい。

○委員長 では、それを通告するのでよいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長 ほかに。

○副委員長 今後のイベント活動、桜まつりは今やる予定で一応商工会議所が進めているのだが、そのほかは、コロナの状況によるかとは思いますが、経済部として推していくのか、それとも状況を見極めるのが普通だと思うが、そういった方向というのを聞きたい。

○委員長 イベントの今後の開催状況についてか。

○副委員長 そうである。

○委員長 それは、コロナの状況をみてと言うしかないと思うが。

○井上委員 すごい気になっているのは、例年どおりに開催しようとして、第6波が来たからやりませんか、とやっているときりがないので、もう感染が広がっている前提でどうやってできるかを考えないとずっとできないと思うので、そういうのを何か考えているのかどうかというのは知りたい。例年どおりやります、やっぱりできませんとずっとやっているのです。

○井之川委員 上がさ、まん延防止なんて出すからじゃないのかというので、もうイギリスかどこかはもうそういうのをやめちゃった。インフルエンザのレベルにしちゃった。

○委員長 これからは、どうやったらできるかということを考えていかないと。もう皆さん限界が来ている。もう3回目のワクチンもやることだし、皆さんで。

○中村委員 こういうコロナの状況下で、どういう開催ならできるかと。

○委員長 横山市長も、withコロナと言っているから。コロナと共に。

○井之川委員 あと、委員長が言ったワクチンと、検査だ。検査がもう自由にできて、おかしいと思ったらすぐにできるというような状況があって、ワクチンをどんどん皆が打てば、案外大丈夫だ。3回目は遅れたから、去年のうちから皆打っていれば、こんな騒ぎにならなかった。

○委員長 では、今後のイベントの開催に向けた対応についてということで。

○中村委員 コロナ禍の状況の中でのイベント開催に向けてどのように検討をしているのか。

○井之川委員 どれだけ判断できるか。多分県がああいうのを決めれば、それでやる。右にならえで。まん延防止だと県に言われて、市がそんなの関係ないと言えない。多分そうだ、日本の場合は。

○委員長 何かあれば、県でなくて市が叩かれるから。

○井之川委員 だからああやって、まん延防止を解除した県があるが、ああやって解除すればやっていたと思う。群馬県は21日まで、また申請しちゃったから。

○井上委員 そういう中で、県が出しているのに市町村が何かやって、それで広がれば、県はだから言ったじゃないかとなるから。

○中村委員 感染すれば、すぐね。

- 井上委員 全部こっちの責任だから、そりゃ市はやりたくない。
- 中村委員 職員も楽し。
- 井上委員 やらない理由ができちゃうから。
- 委員長 県から言われている対策を取りながらやって、出たものにはしょうがないとなる。
- 井之川委員 でも、新年度になれば大丈夫でないのか。ワクチンとか、検査とか、あとは飲み薬が。
- 委員長 だって、歓送迎会の時期だ。歓送迎会の時期が1番儲け時だから、それをできないのは辛いものがあるよね。
- 副委員長 半端じゃない。
- 井之川委員 酔っ払って1番金使ってくれる時期だ。
- 中村委員 どこかの自治体が、500人集めたけれど2人感染しましたというような事例が段々出てきて、多少出てもやればいいのかという雰囲気になればいいが。
- 井之川委員 だけど、どこかで公務員がやって出たら叩かれるから。
- 委員長 陽性が出ても、みんな軽度で済めばね。
- 中村委員 世の風評がまだそっちにいつちゃうから、市は何考えて開催したんだなんて言われてしまう。
- 委員長 ほかに。
- 井之川委員 あとは、林業の担い手支援事業というのがありますが、いつもあるものだが、農業は新規就農者の支援というのがあり、所得まで補償して、だが新規林業者に対する直接的な支援というのがない。これは保険だとかの支援になる。
- 委員長 あまり沼田では聞かない。
- 井之川委員 仕事をするための担い手支援活動とあるけれど、直接その人に支援しているのではない。新しく林業やりたいとか、そういう人に。特用林産物の生産に加わったなんて、多分きのこを作ったり、そういう補助金を出しているのではないかと思う。若い人が林業という、木を切ったり、ああいう労働者になるというのに支援をしているのではないと思う。だけど、よくテレビなんかで林業の盛んな自治体の話で、若い人達が今そういう林業者になるというので、支援をしている。だから、今回誰か聞かかなと思ったけれど、誰も聞かないから、林業振興事業で、担い手支援事業の担い手に直接支援等は…。
- 委員長 農業のほうは、新規就農者だとか、そういった支援は県も国もあるが、林業のほうにも、そういうものがないから市独自の支援なんかは検討したのかどうかということか。
- 井之川委員 そう、そういうことだ。
- 井上委員 林業の新規就業対策について、何かあるのかということだ…。
- 井之川委員 今、皆若者が大学辞めても仕事がないなんていうのがあって、沼田に来てそういうのをやれば、しばらく生活も補償して、林業従事者として自分でできますよとか。そういうのをやってもらえれば。
- 委員長 皆経費で取られちゃって、うちも昨年ちょっとだが間伐したが、木が280万円くらいで売れた。だけれど、自分の口座に振り込まれたのが25万円だ。ほとんど経費で取られちゃった。

○井之川委員 国の林業の支援金をもらっていて、赤ちゃんのウッドスタートでおもちゃを作るのもいいが、本当に林業者を育てるようなところに使ってもらいたい。

○委員長 そういうものがあれば里山だとか、そういったもので、仮に整備されれば獣も出てこないし。

○井之川委員 私有林の境界線だとか、登記だとか、そういうのにお金を一生懸命使っている。それも必要だが。

○委員長 あれは頼めば皆出してくれるのか。

○井之川委員 皆順番で待っていると言っていた。あれよあれよという間に希望者が毎年出て。

○委員長 うちの山の境界なんて全然分からない。親父が死んじゃって、全然聞いていないから。山は20町歩くらいあるが。

○井之川委員 この間までは皆も放っておいて、何もしないようだったけれど、国と市がやってくれるということになったら皆手を挙げて、今順番待ちだなんて、昨年辺りからそんなことを言っていた。そういうのがあるが、本当に担い手というので、新規就林業者というのが、そういうのについてちょっと考えてもらいたいなと思っている。

○委員長 ほかに。

○副委員長 山本一太知事が、ウクライナの人達を草津温泉に避難所として支援しようという呼びかけがあったのだが、それを沼田市でどうかなど。だけど、避難するだけではなくて、そこで生活しなくちゃいけないということを山本知事が言っていた。だから仕事の斡旋もして、長期になると思うので、そういったことは沼田市は考えているのかどうかというのを。いいPRにもなると思う。

○委員長 今まん延防止で温泉旅館に泊まり手がないから、老神に入れたいということか。

○副委員長 老神も含めて、町場の旅館と呼ばれるところにも。あとはスキーシーズンが終われば玉原だってやっぱり一時閑散期に入ってしまうなんて思ったりもしたのだが。

○井之川委員 3. 11の大震災の時に、片品村がやった。片品村の村長が、大型バスで連れてきてとやっていたから、そういうことは名前を挙げれば注目は浴びる。

それはどこでやるのか。部署は。

○井上委員 旅館を使うのであれば観光交流課か、そういう案で出すのであれば。ただ、多分部課長でなくて、市長案件になるのではないか。

○井之川委員 3. 11の時は、別に観光ではない。災害だから、全部総務関係になる。

○井上委員 たまたまそこを使ってくれという、空いているからそこを使おうという話になった。

○井之川委員 下の、お風呂のあるふれあい福祉センター、あそこでずっと何人かは住んでてくれた。

○委員長 委員会として、挙げるということか。今旅館等がまん延防止でお客さんがいないから、そういったところに受け入れてはどうかということ、委員会として提案するのか…。さっき言った、これは委員会の場で済む話ではなくて、市長案件になるから。

○井之川委員 これは、4月で間に合うのか。今日やってとは言えない。

○副委員長 観光とか、温泉地も含めたところの底上げになればなと思った。

○井上委員 実際そこにお金は落ちる。

○井之川委員 そんなに固く考えなくちゃ、こういう話で皆が一致して、正副で市長のところへ行って、委員会としてこういうことを市長に要請しますと…。要請でいいのではないか。決議とかではなく。

○委員長 委員会としてではないということか。

○井之川委員 いや、委員会で。正副が委員会の代表で来ましたと、そういう話をしてもらえれば。

○委員長 では、皆さんがよければそのように行ってくるが。

○井之川委員 そう、そんな固く、委員会決議なんてしなくてもいいのであれば、そういうのでいいのではないか。そのほうが逆にいいかもしれない。

○副委員長 そうさせてもらいたい。

○井之川委員 正副で来ましたと、行ってもらって。何か必要だから、観光とかのこっちの関係だけでなく、ウクライナ人民を支援するという大事なことから。

○副委員長 もしかしたら明日は我が身かもしれないから。

○委員長 前橋市と大泉町も町で受け入れるなんて、この前新聞にも載っていた。

○井之川委員 市長が決断すれば、記者会見で、沼田も受け入れますなんて言ってもらえれば新聞に載るだろう。

○委員長 来る来ないは別だが。

○井之川委員 来るのが大変だから。

○委員長 来たって、そんなえらい人数来るわけではないから。

○井之川委員 東京に近いところから多分下りていって。

○中村委員 ウクライナ人が在住しているか、親戚の人でいるかどうか、大泉町のほうでは。

○委員長 太田では、外国人労働者がいて、大泉町は2割だか3割が外国人だと言っていた。

○井之川委員 ちょうどいい、ここの所管だが、市営住宅について今日やったが、ちょっと課長とあまりうまくいかなかったが、空いている。市営住宅は空いているのに、市営住宅をちゃんと確保しろなんて私が言ったから、冷たくされちゃったが。今入り手がいない。だからちょうどいい。東下原団地が、今3部屋くらい空きっぱなしで、一生懸命宣伝しているのに誰も申し込まない。

○委員長 北小のところか。

○井之川委員 北小のところではなくて、脳神経外科のところだ。

○井上委員 東下原団地はエレベーターがない。

○井之川委員 だから、そういうのだと思う。高齢者が容易じゃない。2階ならいいけれど。

○副委員長 じゃあ、さっきの勤労会館の人達は事務所そこでいいのではないか、1区画借りて。

○井之川委員 そうだが、それを経済部が都市建設部に言っても、都市建設部はうんと言わない。我々はそういうふうに簡単に考えるが、なかなかうまくいかない。

○井上委員 市営住宅の貸出要件には合致しないから貸し出せない。絶対そういう話にな

る。

○中村委員 管理規定があるから。利根町の市営住宅も皆空きっぱなしだ。

○委員長 南郷も、あれは良い建物で。

○井之川委員 あれは壊したのではないか。用途廃止で。

○委員長 まだあったような気がしたが。

○井之川委員 ものはあるかもしれないが、市営住宅ではなくなっちゃう。

○委員長 そういうことか。まだ壊していないなと思って。

○中村委員 用途廃止して売却するのではないか。

○委員長 あれはまだいいものではないか、先生が住んでいたところ。

○井之川委員 南郷団地と言ったか。まだ一応、建物状況から維持管理に努める団地となっているが、これは用途廃止をするということになっていた。だから、売っちゃうのではないか。大震災の時も何人か来ていたが、そういうところも、温泉施設もいいが、ずっと住むのであれば、そういう市営住宅だとか空いているから、そういうところの活用もできる。

○委員長 温泉だと、市が補助を出さないといけないから。

○井之川委員 ずっとというわけにはいかないから。お客が来るようになれば。

○委員長 市営住宅なら、ずっと住むなら住んだっていいから。

○井之川委員 そうだ。

○委員長 では会議終了後、正副委員長が代表で、委員会としての要請を行うことでよいか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、そのようにする。

ほかに。（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、以上で経済部の所管に係る調査事項検討と意見交換を終了する。

（２）都市建設部各課の調査事項検討・意見交換

○委員長 次に、次第（２）都市建設部各課の所管に係る調査事項の検討と意見交換に入る。発言のある委員はあるか。

○中村委員 今回一般質問で避難所の耐震化、バリアフリー化というのを質問させてもらったが、それに関わるが、沼田市全体の沼田市耐震改修促進計画の進捗状況について伺いたいと思う。計画から相当数の年数がたってきていて、どうなのか。

○井上委員 建築住宅課になるのか。

○井之川委員 誰か聞いていたのではないか、一般質問か何かで。

○中村委員 私だ。指定避難所、災害の避難所の耐震化とバリアフリー化で聞いたので。

○井之川委員 全部でなくて、学校みたいなところだったか。

○中村委員 沼田市全体の、沼田市耐震改修促進計画についてお願いしたい。

○委員長 では、それについて通告するのでよいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

ほかに。

○井之川委員 聞くほどではないが、さっきわざわざ言ったが、沼田市住宅マスタープランというのが、終わっているのにまだホームページに載っている。もう活用してませんと課長は言っていたが、なんでまだ…。それで、さっき言ったように、平成29年4月1日更新と書いてあったから。それで、下のほうを見ると10年間計画と書いてあるから、平成29年から改正して10年計画なんだなと思ったもので、一般質問出したのだが、話を

したらもうそれは使っていないんですということだったから。立派にホームページに載っているのに。だから、よく見ていけば、確かに2019年までと書いてある、3年前で終わっている。あれは問題にするわけではないが、一言なんか言いたい。

○委員長 もう言ったから、消しちゃうのではないか。

○井之川委員 昨日見たから、まだ載っていると思う。あれは消すの大変なのではないか。秘書課とかに言って、消してくれと言って、消すのではないか。

○井上委員 各課でできるはずである。各課でできるようにシステムを入れ替えたのだから。

○委員長 すぐできるのではないか。

○井之川委員 じゃあなんでやらないのか。まあ、これは通告することではないが。

○井上委員 ホームページの中で、変わったのに残っているものって結構ある。

○井之川委員 4月にまた見てあったら、来たときにおかしいじゃないかと言おう。

○委員長 そういうのは、休憩取って、言ってもらえれば。

○井之川委員 多分あれだけ言ったから、年度も替わるし消すかもね。あれは各課でできたのか。

○井上委員 各課でできるようにというので、今のCMSにしたので。

○井之川委員 残してたら皆勘違いしちゃう。

○委員長 ほかに。（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、以上で都市建設部の所管に係る調査事項検討と意見交換を終了する。

本日の会議の結果、今後の調査案検討について、事務局に確認させる。

○事務局書記 それでは、まとめさせていただく。

まず経済部の所管に関することについては、勤労者会館の解体に向けた話し合いはどうか進めているのか。2点目が、新型コロナウイルス感染下でのイベント開催に向けて、どのように検討をしているか。3点目が、林業の新規就業対策について、市独自の支援の検討はしているのか。

次に、都市建設部の所管に関することについては、沼田市全体の耐震改修促進計画の促進状況について。

以上4点の項目について調査事項として当局へ通告するというのでよいか確認をお願いします。

○委員長 今事務局から言った内容で通告するというのでよろしいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それではそのようにする。

○委員長 ほかに、委員各位から何かあるか。——なければ、以上で経済建設常任委員会を終了する。